

話題の映画@茨木

2019年7月25日(木) ①10:30 ②14:00 ③19:00 (各回30分前開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

”必ず帰ってくる“という約束の物語

BONNE PIOCHE présente
une production BONNE PIOCHE CINÉMA et PAPIKA FILMS
en association avec WILD-TOUCH PRODUCTION

L'EMPEREUR

リュック・ジャケ 監督

皇帝ペンギン

❄️ ただいま ❄️

12年の時を経てふたたび、極寒の南極へ。誰も観たことのない、驚きと感動の映像叙事詩。

監督:リュック・ジャケ アナシス・ランベール・ワイルソン 製作:イヴ・ダロンド、クリストフ・リク、エマニュエル・ブリーク 共同プロデューサー:ローラン・ボジャール、ピエール・エマニュエル・フルランタン、ジャン・ドゥマスト

撮影:ジェローム・ブイエ、ヤニック・ゲル、ロニエル・シャレー、ジョーロム・メロン 編集:ミッシェル・ド・グタバルド 音楽:シル・セーフォーカ

2017年/フランス/仏語/カラー/ビスタ/55分/原題:L'empereur 提供:ハピネット、ユナイテッド・シネマ 配給協力:ユナイテッド・シネマ 宣伝:ミラクルフェイス 日本語字幕:佐藤尚

協力:上田一生、サンマーク出版 振興:山梨鳥類研究所、WWFジャパン、国際自然保護連合日本委員会、日本自然保護協会、在日フランス大使館/アンスタ・チュウフランセ日本、韓国-日本動物園水族館協会

A FILM BY LUC JACQUET PRODUCED BY YVES DARONDEAU CHRISTOPHE LIQUÉ EMMANUEL BLOUÉ COPRODUCED BY LAURENT BAUJARD PIERRE-EMMANUEL FLEURANTIN AND VINCENT DEMARTE CINEMATOGRAPHY JÉRÔME BOUVIER YANICK GENTIL LUC JACQUET LAURENT CHALET AND JÉRÔME MAISON EDITING CHARLÈNE GRAVEL SOUND SAMY GARDET FRANÇOIS FAYARD THIERRY LEBON MUSIC CYRILLE AUFORT POST-PRODUCTION SUPERVISOR CYRIL CONTEJEAN POST-PRODUCTION LABORATORY LUMIÈRES NUMÉRIQUES À BONNE PIOCHE CINÉMA PRODUCTION IN CO-PRODUCTION WITH PAPIKA FILMS

IN ASSOCIATION WITH WILD-TOUCH PRODUCTION THE WALT DISNEY COMPANY FRANCE AND WILD BUNCH WITH THE PARTICIPATION OF OCS AND FRANCE 3

© BONNE PIOCHE CINÉMA - PAPIKA FILMS - 2018. Photo: © Days Outdoors penguin-tadaima.com



世界が恋した皇帝ペンギンが、スクリーンに戻ってきた！
命懸けで家族を守り、待望のヒナが初めて海へ旅立つまでを描いた、絆の物語。

アカデミー賞・長編ドキュメンタリー賞を受賞し、世界で2500万人が観た奇跡のドキュメンタリー映画『皇帝ペンギン』(05)から12年、リュック・ジャケ監督が再び南極を訪れた。ぼってりした体をゆきゆき揺らして歩く大人の皇帝ペンギンとフワフワの羽毛と飛行帽をかぶったような、とびきりキュートなヒナ。本作では、まだ子供の羽毛に覆わ

れている若いペンギンたちの初めての旅に密着し、厳しい自然の中で一生懸命に生きる彼らの姿と親子の絆を感動的に描き出す。時にドキドキハラハラさせられながら、かわいいだけではない彼らの真の姿とともに南極の絶景を迫力の映像で紹介する珠玉のドキュメンタリー。

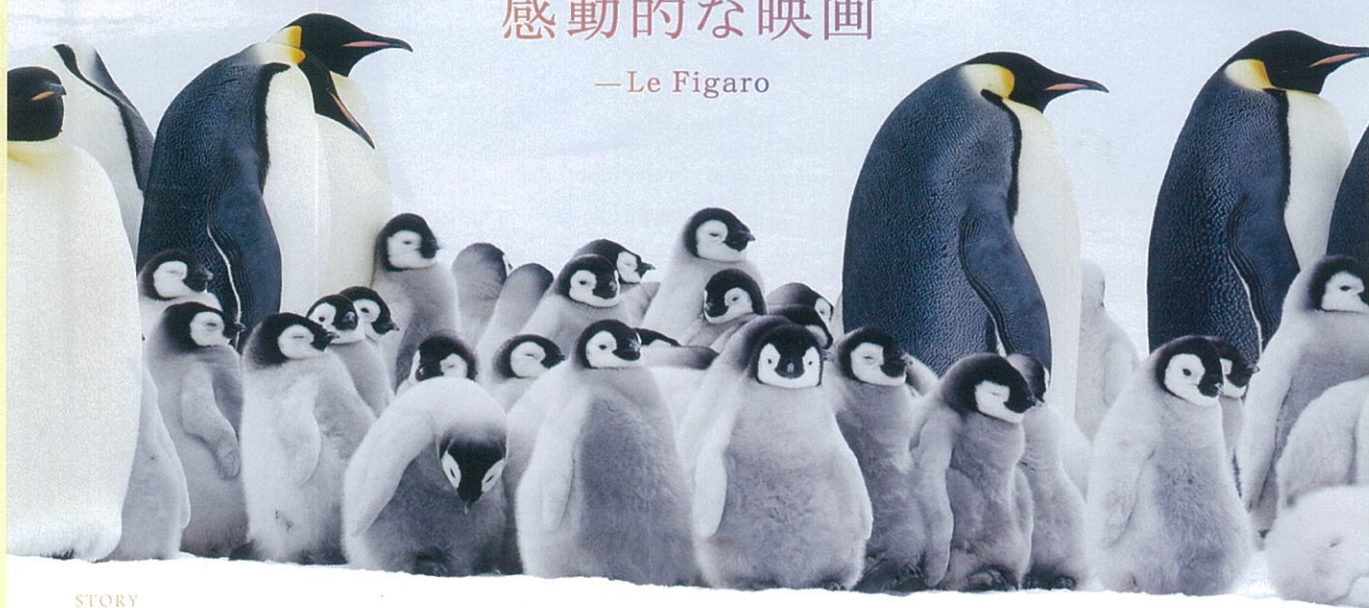
一流スタッフが4Kカメラやドローンを駆使し、
水中撮影では最深記録を達成した圧巻の最先端映像技術！

零下40℃、時速250kmにもなるブリザードが吹き荒れる南極で暮らす皇帝ペンギンは、天敵を避けるため繁殖期には海から100kmも内陸のオアモック(氷丘のオアシス)へ行進する。そして、オスは真冬の2ヶ月間、卵を両足の上に乗せたまま温め続けるなど“世界でもっとも過酷な子育てをする鳥”として繁殖してきた。今回は最新鋭のデジタル4Kカメ

ラとドローンを導入。寒さと水から体を守る滑らかな羽毛や、空の青さそのままが反射する冰山など美しい自然の映像がクリアに映し出される。また、水温マイナス1.8℃のなか、南極海では史上初となる水深70mの水中撮影に挑んだ。透き通る南極海を飛ぶように狩りをする皇帝ペンギンの雄姿と、氷海下に生息する多様な生物の撮影にも成功している。

息を呑むような映像による、
感動的な映画

— Le Figaro



STORY

産卵を終えた母ペンギンは大切な卵を父ペンギンに渡し、一路海へ。父は母が帰るまでの約120日間、絶食状態で卵を温めて孵化したヒナを守る。経験の浅い父は抱卵に失敗したり、ヒナが天敵に襲われることもある。集団の中でも最長老の40歳の父ペンギンは子育ての大ベテランであり、無事にヒナを母に受け渡すことができた。両親は海とオアモックを往復して、食欲旺盛なヒナを育てていく。夏が近づくと、両親はヒナに別れを告げる。そして灰色の羽毛が抜け始める頃、ヒナは何かに向かって歩き出す。その厳しい旅の末に迎えているのは……。

【皇帝ペンギン】 Emperor penguin・Aptenodytes forsteri

体長100～130cmのもっとも大きなペンギン。体重は22～40kg。南極圏内だけで一生を過ごす唯一の大型動物である。ペンギン全種の中で最も寒冷な環境に適応しており、親鳥は、餌を探るため150～1000kmも移動するなど、過酷な環境の中で子育てをしている。



監督：リュック・ジャケ フランス語ナレーション：ランベール・ウィルソン 製作：イヴ・ダロンド、クリストフ・リウー、エマニュエル・ブリウー
共同プロデューサー：ローラン・ボジャール、ピエール・エマニュエル・フルランタン、ヴァンサン・ドゥマタル
撮影：ジェローム・ブヴィエ、ヤニック・ジャンティ、リュック・ジャケ、ローラン・シャレ、ジェローム・メゾン 編集：シャルレーヌ・グラヴェル 音楽：シリル・オーフォール
2017年/フランス/仏語/カラー/ビスタ/85分/原題：L'empereur 提供：ハビネット、ユナイテッド・シネマ 配給：ハビネット
宣伝：ミラクルフォイス 日本語字幕：佐藤南 協力：上田一生、サンマーク出版 後援：山崎高嶺研究所、WWF ジャパン、国際自然保護連合日本委員会、
日本自然保護協会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス日本 監製：日本動物園水族館協会
© BORNE PRODUCE CINEMA - PATRINA FILMS 2016 Photo: © Danny Orlowski penguin-tadaina.com

【公式キャラクター：べんた】

南極生まれの皇帝ペンギンのヒナ。
寝ぐせがトレードマーク。
インスタグラムで人気：@penguinhikoki



2019年7月25日(木) ①10:30 ②14:00 ③19:00

【全席自由】1,000円 (大阪映画センター会員の方は900円)

※就学前のお子様はご遠慮下さい

◆チケットのお取扱い・お問合せ [4月24日(水)発売]

(公財) 茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(9:00～17:00)

○クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00～17:00)

○福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00～17:00)

◆主催・お問合せ 株式会社大阪映画センター ☎06-6719-2233



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726